

研究主題	「グローバルキャリア人育成神戸モデル(KMGC)のカリキュラム開発と評価方法の研究」—教科教育を通じた汎用的諸能力の涵養—								
<日時>	平成 28 年 2 月 11 日(木) 祝日	<場所>	神戸大学附属中等教育学校	〒658-0063	神戸市東灘区住吉山手 5 丁目 11 番 1 号				
<主催>	神戸大学附属中等教育学校	<後援>	兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会						
<タイムスケジュール> * (美術の研究協議は 11 時 15 分～12 時 45 分です。)									
受付	全体会	公開授業 I	休憩	公開授業 II	休憩	研究協議	休憩	講演会	終了
9:00	9:30	10:10	11:00	11:15	12:05	13:00	14:30	14:45	15:45 16:00
●講演会 安彦 忠彦氏 (神奈川大学) 「演題: 次期学習指導要領の方向性」									

公開授業

教科	時	学年	授業者	授業紹介	教科の研究テーマ	指導助言者
国語	I	3年	【国語】 中川 雅道	【読解から対話へ 「高瀬舟」を考える】 子どもの哲学 (Philosophy for Children) という手法を使って、森鴎外の「高瀬舟」について考える授業を展開します。	生きて働くことばの力を培う	目黒 強 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
	II	5年	【国語】 岡本 利昭	【森鴎外を「読む」】 森鴎外の初期作品を、作者の立場に立つことで、鴎外の創作意図、表現の工夫を考え読み味わいます。		
社会	I	2年	【社会】 上村 幸	【明治期の領土の確定】 アホウドリ捕獲を理由とする南洋進出を例に、領土拡張の本質を理解するとともに、領土を拡張せずに近代化する条件や方法を考えることで、社会的な見方・考え方および態度と価値観を身につけることを目標とした授業を提案します。	グローバルな時空間認識の育成	三田 耕一郎 (神戸市教育委員会) 吉永 潤 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
	II	5年	【日本史B】 木下 宏史	【幕藩体制の成立】 朝鮮通信使にみられる外交使節へ向けた対応と、それを国内政治へと利用した幕府の外交政策を読み解くことで、批判的思考力および主体的に社会へと関わる態度と価値観を培う授業を提案します。		
数学	I	3年	【数学】 井上 正行	【課題学習】 三平方の定理から既習の因数分解、連立方程式を駆使して、ピタゴラスの数を見つけようとする発見力を育成する授業を展開します。	数学的活動を通して、課題解決能力の育成を目指す授業展開	高橋 謙嗣 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所) 岡部 恭幸 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
	II	4年	【数学A】 西田 隆男	【ユークリッドの互除法】 紙を折る・切る作業を通して、定理を実感として理解させる。ユークリッドの互除法を応用し、整数についての理解を深める。		
理科	I	1年	【理科】 副島 麻衣	【大地は語る】 地殻変動に注目して堆積岩を観察・考察し、自然遺産の価値について科学的に考えます。また、協同学習を重視し、生徒が主体的に学習する授業を提案します。	サイエンスリテラシーの育成を目指した中等教育6年間カリキュラムの構築とその実践	伊藤 真之 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所) 佐藤 春実 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
		5年	【物理】 瀧本 家康	【探究活動 (測定値の処理)】 重力加速度の測定実験で得られた測定値から基礎物理定数の真値を統計学的に推定する方法を学ぶことを通して、サイエンスリテラシーを統合的に育成します。		
	II	3年	【理科】 阪田 和寛	【自然と人間のかかわり】 これまで学習してきた知識や考え方をういて、発展的な授業に取り組みませます。自然界の炭素の循環から、光合成のしくみを考えます。		
		4年	【化学基礎】 安田 和宏	【酸化と還元】 酸化還元反応の利用の一例として、化学電池の原理・しくみを考える授業を展開します。さらに、生徒自らが科学的に考察する言語活動を含む授業形態を提案します。		
美術	I	4年	【美術】 正井 裕子	【防災～避難所における居場所作り～】 避難所で起こりうる課題を解決するモノをデザインし、本時ではその実寸模型の鑑賞を行います。相互鑑賞を通じ、社会課題解決につながる視点の育成を目指します。	社会課題解決につながる美術・デザインの視点の育成	鈴木幹雄 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
体育	I	1年	【体育】 藤本 佳昭	【硬式テニス～TENNIS PLAY&STAY プログラム～】 速度の緩やかなボールと適切なサイズのコートを使用し、生徒の技能や自信に応じて、試合の長さを工夫し、段階的に確かな成長を感じる授業を行います。	発達段階に応じた マイスポーツ獲得を目指す 授業実践	高田 義弘 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)
	II	4年	【体育】 板羽 淳平	【バスケットボール ～分析するスポーツ～】 スポーツの参加の仕方は、“する”・“見る” など様々な方法があります。今回はその中でも“分析”に着目し、スポーツに対してより多角的に参加する方法を考えます。		
家庭	I	2年	【技術・家庭科】 金田 理子	【持続可能な社会を目指す食生活について】 これまでの食に関する学習や調理実習を通して、食に関する問題を考え、解決する方法を話し合うことで、意思決定力や実践力の育成を目指します。	食生活を通して、これからの自分の生き方を考えるキャリア学習	朴木 佳緒留 (神戸大学名誉教授)
情報	II	5年	【情報の科学】 山下 和也	【アルゴリズムの発見学習】 アンブレグド教材を用いてソートアルゴリズムの発見過程を体験する。また、協同学習を通してアルゴリズムの特性を理解するとともに、自ら課題解決に取り組む姿勢の育成を目指します。	教科「情報」を通じた課題解決能力の育成	未定
英語	I	1年	【英語】 緒方 高士	【Our Cool Japan】 身近な日本の文化について、他教科で学んだ知識に加えて情報収集を行い、小集団ごとにさまざまな形式でプレゼンテーションを行います。	プレゼンテーション能力の育成を中心とした中等教育6年間カリキュラムの構築	横川 博一 (神戸大学 大学教育推進機構教授) 和田 稔 (明海大学名誉教授)
	II	4年	【CE】 岩見 理華 増見 敦	【食料の安全保障～食料の需要と供給のバランス】 英語を用いて世界的な視野から日本の食料に関する現状や特色をテキストや図表等のデータから読み取り、国内の食料に関する課題を理解することを目指します。		
養護	II		【養護】 藤原 真由美 高橋 佑以子	【健康相談活動の取組～教育相談委員会に視点を当てて～】 本校の教育相談委員会の体制をはじめ、教職員や大学との連携、研修会、発達支援などの組織活動について実践発表します。	中等教育学校における養護教諭の学校保健活動とは～グローバルキャリア人としての資質の育成を目指して～	北口和美 (近大姫路大学教育学部こども未来学科)

参加申込

本校ホームページ <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-s-fuchutop/> より申込フォームをダウンロードし必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください(1/29 〆切)。

平成 27 年度 神戸大学附属中等教育学校 授業研究会 二次案内

正誤表 (2016 年 1 月 13 日)

2015 年 12 月に公表した二次案内に誤記 (または追記) がありましたので、以下の如く訂正いたします。関係各位にお詫びいたします。

■英語科 指導助言者

誤：横川 博一 (神戸大学 国際コミュニケーションセンター教授)

正：横川 博一 (神戸大学 大学教育推進機構教授)

■数学科 公開授業Ⅱ 4 年【ユークリッドの互除法】

誤： 紙を折る・切る作業を通して、定理を実感として理解させる。また 3 つの数の最大公約数についてユークリッドの互除法が適用できないか考えます。

正： 紙を折る・切る作業を通して、定理を実感として理解させる。ユークリッドの互除法を応用し、整数についての理解を深める。

■理科 公開授業Ⅱ 3 年【自然と人間のかかわり】

誤： 地震波をドミノに見立てて、発展的な内容に取り組みます。地球とその環境について、小集団学習を通して、科学的に考えを深めます。

正： これまで学習してきた知識や考え方をを用いて、発展的な授業に取り組みさせます。自然界の炭素の循環から、光合成のしくみを考えます。

■美術 指導助言者

誤： 未定

正： 鈴木幹雄 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

以上